

報 告 書

開催日時	平成28年7月15日（金） 20時00分～21時45分				
自治協議会名	花之木地区住民自治協議会	開催場所	花之木地区市民センター		
出席議員	岩田 佐俊、嶋岡 壯吉、上田 宗久、百上 真奈				
	司会者	岩田 佐俊	記録者	百上 真奈	報告者
参加人数	21 名				

【主な意見・提言、対応等】

議会報告について

- ・ごみ減量・リサイクル等推進委員会の委員は、各自治協から最低1名は選出するべきである。
- ・定住自立圏構想について、なぜ笠置町と南山城村なのか。
- ・子ども医療費の窓口負担について、東海地方でなぜ三重県だけなのか。
- ・南庁舎北側駐車場舗装工事費について、3月定例会では圧倒的多数で削除したのに、6月定例会では容認する議員が増えている。このように態度を変える議員の良識はどうなっているのか。

新庁舎の進展状況及び南庁舎の跡地利用について

- ・議会がしっかりしていないから進まないのではないかと。計画どおり進んでいないなら議会が市長に対してもっと指摘するべきである。

地区市民センターの自治センター化について

- ・市は進行管理や行政評価をすることばかり言うが、評価をする前に、まちづくり計画においてどのような事業があるのか、評価に値する事業なのかなど、それらを先に見直すべきではないか。
- ・高齢者を支える事業は自治協の役割と思っているが、支援バスを運行するためのノウハウも市は教えてくれない。自治協がやることへの支援、指導、情報提供を市にしてほしい。

市政全般について

- ・川上ダムの進捗状況について教えてほしい。
- ・生徒数が減少している島ヶ原中学校などの校区再編について、動きはあるのか。
- ・災害復旧において、多面的機能支払交付金を受けている地域はその予算で行うように言われたが、少ない予算ですることになり、交付目的から考えてもおかしいのではないかと。災害復旧の工事は市の予算でしてほしい。
- ・合併特例債の残額と活用を予定している事業はどのようなものか。
- ・若者に対する施策がもっと必要である。移住者への予算をもっと増やし、市営住宅を無料にして受け入れるぐらいの思い切った施策が必要である。
- ・伊賀・京都間の高速バスの乗車状況を調べてほしい。大変少ないように思う。
- ・4月29日に七本木の旧国道で水道管から水が噴き出し、数時間にわたり道路が冠水したが、市からは職員が一人来ただけで、業者の到着も遅かった。市の対応は危機管理意識が低く、大変問題である。

伊賀市議会議長 様

平成28年7月19日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成28年度議会報告会 3 班

班長 岩田 佐俊